

所管事項調査①

目次	ページ
1 起債の借入超過に伴う繰上償還について	2 ～ 6
2 令和 8 年度全国学力・学習状況調査結果について	7 ～ 9

教 育 委 員 会
令 和 8 年 9 月

起債の借入超過に伴う繰上償還について

1 概要

【補助】小学校整備事業費 大規模改造に係る令和7年度の市債借入について、借入超過が生じていることが判明したことから、繰上償還に係る元金及び手数料を計上するもの。

予 算 説 明 書				事 業 名	補正額
ページ	款	項	目		
30 ～ 31	12 公債費	1 公債費	1 元金	元金	千円 1, 200
			3 公債諸費	公債諸費	千円 33

2 内容

(1) 繰上償還額(超過額)

ア 元 金 1,200千円

イ 手数料 33千円※

(2)借入先 株式会社 長崎銀行

(3)借入日及び借入額 R7年度借入額:5,400千円
(借入日R8.5.28)

(4)償還予定日 令和8年9月24日

※手数料について

長崎銀行との金銭消費貸借契約書 第2条(期限前返済)に基づく繰上返済手数料として、33,000円を予算計上するもの。

第2条 期限前返済

① 債務者は、期限前返済予定日の7日前までに貴行へ通知し、あらかじめ貴行の承諾を受けたうえで、約定の期限前にその債務の一部または全部を返済することができます。

② 前項の場合において、貴行の請求があったときは貴行所定の手数料を支払います。

3 繰上償還の理由

令和5年度に交付決定を受けた【補助】小学校整備事業費 大規模改造(畝刈小学校 昇降機設置工事)において、交付金を本来よりも過小な金額で算定していたことに伴い、令和8年5月借入に係る市債について、本来よりも過大な金額で借入を行ってしまったことから、借入超過が生じたもの。

なお、交付金については、実績報告時に県から指摘を受けて修正し、正しい金額にて受け入れを行っている。

(単位:千円)

決算額(A) ※1	区分	財源		
		交付金(B) ※2	地方債※3 (A-B) × 100%	一般財源
10,823	借入時の誤った財源構成	5,411	5,400	12
	本来の正しい財源構成	6,577	4,200	46

借入超過額 1,200千円

※1 決算額は、令和5年度に交付決定を受けた学校施設環境改善交付金事業のうち、令和7年度に繰り越した金額を記載している。

※2 交付金については、本来の正しい財源構成(6,577千円)で既に受け入れている。

※3 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債(補正予算債) (充当率100%、交付税措置率50%)

4 交付金及び地方債算定の内訳

(1) 令和6年度及び7年度における交付金の算定

(単位:千円)

学校名	工事名	実工事費 (A)			配分 基礎額 (B)	算定 割合 (C)	算定後 実工事費 (D) (A×C)	算定後 配分 基礎額 (E) (B×C)	算定後採用額	
			R6年度	R7年度					<修正前> (D)と(E)を 「工事ごと」に 比較し低い額	<修正後> (D)と(E)を 「合計」で 比較し低い額
畝刈小	昇降路増築	61,790	61,790	—	13,009	1/2	30,895	6,504	6,504	6,504
	昇降機設置	17,423	6,600	10,823	19,754	1/2	8,711	9,877	8,711	9,877
	合 計	79,213	68,390	10,823	32,763	—	39,606	16,381	15,215	16,381

(2) 令和7年度における市債借入額の算定

(単位:千円)

学校名	R7年度 実工事費 (決算額)	借入時の誤った財源構成					本来の正しい財源構成				
		交付金			R7年度 地方債	R7年度 一般財源	交付金			R7年度 地方債	R7年度 一般財源
			(R6年度)	R7年度				(R6年度)	R7年度		
畝刈小	10,823	(8,711)	(3,300)	5,411	5,400	12	(9,877)	(3,300)	6,577	4,200	46

※()内は令和6年度を含む交付金の額を参考として記載している。

誤った借入額 5,400千円 - 本来の正しい借入額 4,200千円 = 1,200千円
繰上償還額 1,200千円

交付金の算定において、上段の表中、(D)欄と(E)欄を「工事ごと」に比較して低い額(「昇降路増築」は(E)欄の6,504千円、「昇降機設置」は(D)欄の8,711千円)を採用していたが、実績報告時に、各工事の「合計」で比較して低い額を採用するよう県から指摘があった。

そのため、(E)欄の「合計」16,381千円を採用し、これを工事ごとに按分し、「昇降機設置」について9,877千円に修正したことに伴い、下段の表のとおり、令和7年度の交付金の額が1,166千円増(6,577千円-5,411千円)となったことから、借入超過となったもの。

5 経 過

年度	時期	項目	内容
令和6年度	令和6年5月23日	畝刈小学校 昇降機設置工事契約締結	補助事業の実施
令和7年度	令和7年8月29日	畝刈小学校 昇降機設置工事完了	補助事業の完了
	令和8年3月下旬	市債借入額の算定	交付金5,411千円、借入額5,400千円と算定
令和8年度	令和8年4月2日	交付金に係る実績報告書提出	県から指摘を受け、交付金の額(R7年度分)を6,577千円に修正。 交付金の修正に伴い、市債の借入額も修正すべきであった。
	令和8年5月28日	市債借入	市債5,400千円を借入
	令和8年6月3日～7月9日	市債借入超過の判明	決算整理中に誤りが判明

6 原因及び再発防止策

(1)原因

所属として交付金事務及び起債事務について、確認作業が不足しており、交付金の実績報告修正時に市債の借入金額の修正を遺漏していた。

(2)再発防止策

管理職を含め関係する全ての職員が、改めて交付金及び地方債制度の内容を再確認するため、マニュアル及びチェックシートを作成し、所属内での勉強会の実施や交付金の申請・実績報告時及び市債借入資料作成時に複数の担当でクロスチェックを行うなどの確認を徹底する。

(3)全庁における再発防止策

今回の事例を踏まえ、適正な予算執行、交付金事務及び起債事務に関する内容を全庁あてに発出し、当事例の共有と事務誤りに対する注意喚起を行う。また、全庁の筆頭課及び経理担当課などを対象とした予算編成・起債事務ミス防止研修を新たに実施し、予算編成及び起債事務の知識習得を図るとともに、事務誤りの事例等を交えた演習により、再発防止を図る。

7 財源内訳

事業名	区分	事業費	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
元金	補正前の額	千円 23,476,509	千円 -	千円 30,804	千円 -	千円 1,351,140	千円 22,094,565
	補正額	1,200	-	-	-	-	1,200
	補正後の額	23,477,709	-	30,804	-	1,351,140	22,095,765
公債諸費	補正前の額	千円 50	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 50
	補正額	33	-	-	-	-	33
	補正後の額	83	-	-	-	-	83

令和８年度 全国学力・学習状況調査結果について

（１）調査の概要

ア 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

イ 調査内容

（ア）教科に関する調査

- 小学校 … 国語、算数
- 中学校 … 国語、数学、英語（CBT方式） ※CBT方式とは、一人一台端末を使用してオンラインで出題・解答を行う方式

（イ）質問紙調査

- 児童生徒に対する調査 … 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- 学校に対する調査 …… 指導方法に関する取組みや学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

ウ 調査期日 令和８年４月２３日（木）（中学校英語は４月２４日～５月２９日）

エ 調査実施校数及び児童生徒数

（ア）実施校数 １０１校 【調査対象者の在籍する学校の総数】（小学校：６６校、中学校：３５校）

（イ）参加児童・生徒数

・ 小学校６年生 ２，８３８人 ・ 中学校３年生 ２，４６３人

オ 調査結果の取扱いについて

（ア）「学力調査結果の概要」、「児童生徒質問紙調査結果の概要」、「市全体の平均正答率」、「改善の方向性」についての公表を行う。

（イ）長崎市として、個々の学校名を明らかにした結果の公表は行わない。

（ウ）各学校は、自校の分析結果を踏まえた改善方策の公表を行う。原則として、数値による公表は行わない。

(2) 結果の概要

学力調査結果の概要（「長崎市及び県・全国の平均正答率」、「全国・県との差」）

		小 学 校 6 年		中 学 校 3 年				中学校3年
		国語	算数	国語	数学			英語
R8	長崎市の正答率	61	57	64	56	R8	長崎市の平均IRTスコア	486
	県の正答率	61	55	63	56		県の平均IRTスコア	483
	全国の正答率	61	56	64	57		全国の平均IRTスコア	499
	県との差	0	2	1	0		県とのスコアの差	3 ※
	全国との差	0	1	0	-1		全国とのスコアの差	-13 ※

※ 中学校英語はIRTスコア

IRTスコアとは、各問題の難易度などから学力を推定し、500ポイントを基準とするスコア
今回の「-13」というスコアの差は、これまでの正答率では「-2」になると考えられる

＜参考＞ 前回の学力調査結果（国語と算数・数学はR7、英語はR5）

		小 学 校 6 年		中 学 校 3 年		
		国語	算数	国語	数学	英語（R5）
R7 R5	長崎市の正答率	68	57	53	44	42
	県の正答率	66	56	54	46	40
	全国の正答率	67	58	54	48	46
	県との差	2	1	-1	-2	2
	全国との差	1	-1	-1	-4	-4

○ 学力調査の結果に見られる本市児童生徒の各教科における課題は次のとおりである。

- ・小学校国語 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
- ・小学校算数 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解すること。
- ・中学校国語 文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと。
- ・中学校数学 2直線が平行になるための条件を理解すること。
- ・中学校英語 日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えること。

令和8年度 全国学力学習状況調査 学習状況や生活習慣の調査結果の概要(児童生徒質問紙調査からの抜粋)

特徴的な項目について(※ 全国との差が0以上は○、－は△、＋1.0以上の場合◎と評価)

	質 問 項 目	小 学 校			中 学 校				質 問 項 目	小 学 校			中 学 校						
		評価	令和8年度	差	評価	令和8年度	差			評価	令和8年度	差	評価	令和8年度	差				
1	朝食を毎日食べている	○	全国 市	93.3 94.1	0.8	◎	全国 市	90.9 92.3	1.4	9	人の役に立つ人間になりたい	○	全国 市	95.8 96.7	0.9	○	全国 市	95.9 96.0	0.1
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	◎	全国 市	82.8 84.6	1.8	◎	全国 市	80.5 83.9	3.4	10	学校の授業時間以外に普段(月～金)1日当たり1時間以上勉強する	◎	全国 市	49.9 51.5	1.6	△	全国 市	61.6 52.0	-9.6
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている	○	全国 市	90.7 91.5	0.8	◎	全国 市	92.4 93.8	1.4	11	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	◎	全国 市	80.1 81.7	1.6	○	全国 市	72.3 72.6	0.3
4	授業以外で、普段(月曜日から金曜日)、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている(1時間以上)	◎	全国 市	13.4 15.2	1.8	△	全国 市	12.0 10.2	-1.8	12	授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用している	◎	全国 市	68.8 76.5	7.7	◎	全国 市	78.2 83.7	5.5
5	自分によいところがあると思う	○	全国 市	85.6 86.4	0.8	○	全国 市	84.0 84.6	0.6	13	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	◎	全国 市	77.6 78.6	1	△	全国 市	78.8 76.0	-2.8
6	先生は、よいところを認めてくれている	○	全国 市	91.4 91.4	0.0	○	全国 市	90.9 90.9	0.0	14	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	◎	全国 市	77.9 79.4	1.5	△	全国 市	78.6 77.7	-0.9
7	将来の夢や目標を持っている	◎	全国 市	81.8 84.2	2.4	○	全国 市	67.6 68.2	0.6	15	分からないことやよく知りたいたことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	△	全国 市	79.4 79.0	-0.4	△	全国 市	78.2 74.9	-3.3
8	いじめは、いけないことだと思う	○	全国 市	96.2 97.1	0.9	◎	全国 市	95.1 96.1	1.0										

- 「早寝・早起き・朝ご飯」については全国平均を上回った。
- 「自分にはよいところがあると思う」の項目は、小・中ともに全国平均を上回っている。
- 家庭で学習のためにICT機器を1時間以上使う割合は、小学校で全国平均を上回っている。
- 「先生は、よいところを認めてくれる」が、小・中ともに9割を超えている。
- 「将来の夢や目標を持っている」の割合が、小・中学校ともに全国平均を上回っている。
- 「いじめは、いけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたい」という項目は、引き続き全国平均より高い。
- 「学校の授業時間以外に普段(月～金)1日当たり1時間以上勉強する」について、小学校では全国平均を上回っているが、中学校では9.6ポイント下回っている。
- 「授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用している」について、小学校、中学校ともに全国平均を大きく上回っている。
- 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」について、小学校では全国平均を上回っているが、中学校では全国平均を下回っている。